

# 早川平会計事務所通信

3月号 VOL. 184

## 税理士法人早川・平会計

〒101-0048

東京都千代田区神田司町2-10 安和司町ビル2階

電話：03-3254-2171 FAX：03-3254-2174

URL：[www.ht-tax.com](http://www.ht-tax.com)

Mail：[y.taira@ht-tax.com](mailto:y.taira@ht-tax.com)

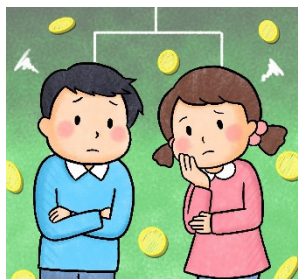


子どものしつけは「かりてきたねこ」といわれます。「か」感情的にならない。「り」理由を話す。「て」手短に済ませる。「き」キャラクター（性格や人格）に触れない。「た」他人と比較しない。「ね」根に持たない。「こ」個別に伝える。人生訓ともいえそうな「かりてきたねこ」。自分のためにも覚えておきたいものですね。

## 知っどこ! 「税」のマメ知識

### 今月のマメ知識：【相続は総合的に判断する必要がある】

今回は夫婦と子どもが2人の4人家族だった場合の相続について考えてみましょう。夫婦の一方が亡くなり、残された配偶者と子どもが相続をしました。これを「1次相続」といいます。その後、残された配偶者も亡くなり、子どもが相続をしました。これを「2次相続」といいます。肝心なことは、1次相続での財産の分け方しだいで、1次と2次の合計の相続税額が数百万円も変わってくる場合があるということです。例えば遺産が1億6000万円だったとして、次のパターンで計算してみました。(1) 1次相続：残された配偶者が8000万円・子が4000万円ずつ／2次相続：子が4000万円ずつ、(2) 1次相続：残された配偶者が全額の1億6000万円／2次相続：子が8000万円ずつ。それぞれの合計相続税額は(1) 1330万円、(2) 2140万円となり810万円の差が出ます。では(1)の方法が良いのかといえば、必ずしもそうとはいえ、遺産の内容や家族状況によってさまざまなので総合的に判断することが大切です。



税額は(1) 1330万円、(2) 2140万円となり810万円の差が出ます。では(1)の方法が良いのかといえば、必ずしもそうとはいえ、遺産の内容や家族状況によってさまざまなので総合的に判断することが大切です。

## 世界の偉人伝

### 今月の偉人：【ベートーベン】

ドイツ出身のベートーベン「楽聖」とも称される偉大な作曲家です。幼少の頃から音楽の才能を発揮し、生涯を通じて進取の気性で創作を続けました。管弦楽作品やオペラなど多くの作品が後世に影響を与えています。20代に患った難聴が悪化の一途をたどり、40代半ばには聴力を失いますが、苦境の中で完成させた「運命」「第九」などの壮麗な交響曲はあまりに有名です。「苦悩を突き抜けて歓喜を勝ち得るのが、最も優れた人間である」との言葉どおり、まさに不屈の人だったのです。

## 気軽に Let's 英会話

### 今月のキーワード：【crack】

3月8日の「国際女性デー」には毎年テーマがあり、今年は“Cracking the Code: Innovation for a gender-equal future”「問題解決に挑む：男女平等の未来に向けた革新」です。“crack the code”には「暗号読解・解決」などの意味がありますが、“crack”でよく使われる意味は「ひび割れ・パシッという音」で、外壁の亀裂を「クラック」と呼ぶこともあります。お菓子のクラッカーは焼くときの弾ける音が由来だとか。“I can crack an egg with one hand”は「片手で卵を割れるよ」です。

# 今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

## A型

運勢は少し弱いもののどっしり構えていれば開運に近づくでしょう。笑顔絶やさなければ吉運UP!

## B型

運勢は安定です。充実した月になりそうです。順調な流れを止めないように心を整えて行動しましょう。

## O型

華やかでも内情は苦労が多い月となりそうです。しかし何事も慌てず取り組めば道は開けるでしょう。

## AB型

チャレンジ精神が旺盛でも今は現状維持が吉なので我慢しましょう。ラッキーアクションは会話です!

# ユウタとコハル

画: ゴハチ



# 振り向けばあそこにも「商売のヒント」

## 今月の商売のヒント:【二進も三進もご破算で】

「二進も三進も」と書いて「にっちもさっちも」と読みます。語源はそろばん用語で、二進(にしん)三進(さんしん)の音が変化して「にっち」「さっち」になったようです。二進とは $2 \div 2$ 、三進とは $3 \div 3$ のことで、どちらも割り切れる計算です。そこから転じて、2でも3でも割り切れないことを「二進も三進もいかない」というようになり、計算が合わないことを意味するようになったそうです。商売をしていれば二進も三進もいかない場面に出くわすことがあります。どう頑張っても行き詰って身動きがとれない、いわゆる逆境ですが、逆境は人間が試される場面でもありますね。思うようにならないときは身をかがめて力を蓄え、次に跳ぶ準備をしておく。事を成すは逆境のときと捉え、ピンチをチャンスに変えるべく行動する人。どれが正解ということはありませんが、ひとつだけダメなパターンがあるとしたら、それは「何もしないこと」でしょう。「今は動かない」と決めて積極的に何もしない状態と、自分では何も選ばず何も決めず、ただ何もしない状態は、たとえばたから同じに見えても、実際はまったく別物です。特に世の中が目まぐるしく



変化している今のような時代には、何もしないことが一番のリスクになるといわれます。では動けないときはどうするか。その方法のひとつはリセットです。そろばんでは、次の計算に移るとき、先に置いたたまを全部払ってゼロにして、新しい計算ができる状態にすることを「ご破算(ごはさん)」といいます。二進も三進もいかないときは、今までの常識や経験をご破算して前に進む。そんな発想の転換が必要かもしれません。

# トナリの本棚

## 【限りある時間の使い方】

気鋭のライター、オリバー・パークマンのベストセラー。「あなたは自分の人生をまだリハーサルと捉えていないか?」という一節に、胸を突かれる一冊です。



洗濯物を室内干しするときは、新聞紙をクシヤクシヤに丸めてから広げたものを、洗濯物の下に敷くと乾きが早くなります。新聞紙には吸湿性があり、クシヤクシヤにすると表面積が増えるので吸湿率がアップして、さらに室内干しの気になる臭いも吸ってくれます。

知恵袋  
得する知恵袋